4種委員会 大会運営共通事項（8人制大会）

2026年9月更新

1 参 加 資 格

1) 日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームで登録選手はそのチームに所属する選手であること。
2) 県下13地区の代表チームであること。
3) 選手は、必ずスポーツ傷害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること。
4) ベンチ入り指導者は、全員がJFA公認指導者ライセンス(D級以上)所有者であること。又、自身の指導者ライセンス証をネックストラップ付きカードホルダーに入れ提示できる状態であること。

2 競 技 規 定

1) ル ー ル　日本サッカー協会競技規則（8人制）で、本年度4月1日現在で伝達された内容とし、1人審判制とする。
2) ピ ッ チ　タッチライン60～80m・ゴールライン40～50mを基本とするが、タッチライン68m・ゴールライン50mが望ましい。ゴールの大きさは、少年用（内径で高215cm幅500cm）とする。
3) 試 合 人 数　8人制とする。
4) 試 合 球　日本サッカー協会公認4号ボールとする。
5) 登 録
   ① 選手登録人数は、8名以上25名以下とする。
   ② 移籍入団選手が移籍前の地区予選に選手登録していた場合、移籍入団先で同大会（兵庫県本大会含む）に出場することは出来ない。その大会が関西大会・全国大会に繋がっている場合は同様とする。
   ③ 抽選会までに行なうチーム登録・選手エントリー表の提出をもって登録とする。
   以後の変更は、追加・移籍であっても認めないので、事前の登録を済ませること。
   ④ 大会当日、指定された時間までに、選手エントリー表の提出を行う。
6) 選 手 交 代　自由な交代とし、登録選手の中から補助審判への申告後に、交代ゾーンでまず交代選手が退場した後に次の選手が入場出来る。（小学生選抜サッカーは大会要項による）
7) ユニフォーム　新調する場合には黒系統を避けること。

3 暑熱対策

1) 暑熱に関する試合の開始判断、中断、再開等については、県4種委員会で定めた「熱中症対策による中断再開規程（兵庫県4種大会）2026改訂版」の通りとする。

4 雨天および雷雨時

1) 雨天決行。但し、天災、警報等(開催地での気象など)で開催が危ぶまれる場合は、県4種委員会で協議し決定する。
2) 大会中急な天候の変化による大雨、大雪、落雷等の危険性が高まった時は直ちにその試合を停止し平穏になってから再開（リスタート）する。再開方法等については、県4種委員会で定めた「雷,大雨,大雪等による中断再開規定（兵庫県4種大会）2026改定版」の通りとする。
3) 日本サッカー協会の指導と共に、選手に受ける身の危険を回避するために雷の発生時には、試合を速やかに停止し、選手だけでなく観戦者を含む関係者全員が退避するように促すこと。
4) 試合の再開は、当日に再開できない場合であっても、当日に再開する場合と同様とする。そのため、選手変更、ユニフォーム変更は原則認めない。
5) 審判員は、必ず事項を記録し、事後の再開に支障が出ないようにする。

5 抽 選 会

1) 組合せ抽選会を原則大会2週間前までに行うこと。場所は、開催地協会が決定する。
2) 大会参加費を抽選会までに県協会へ納付すること。
3) 予選リーグ戦においては、同一都市協会の第2代表までのチームは同一グループに入らない。
4) ノックアウト方式においては、同一都市協会の第1～第3代表チームは2回戦までの対戦を行わない。

6 試　　合

1)　飲水タイムの時は、選手がピッチを出たり、指導者がピッチに入ったり指示を与える事は出来ない。

2)　試合中、テクニカルエリア内で立って指示出来るコーチは1名のみとする。またベンチ入りコーチ全員が着席している場合も指示出来るコーチは1名のみとする。補助審から注意を受けた場合は、素直に従うこと。目に余る場合は退席処分とし、事後大会本部から該当チーム役員および所属地区4種委員長に厳重注意をするとともに同大会次の1試合はベンチ入りできないものとする。

7 規律フェアプレー

1)　大会参加選手および指導者は、競技規定を遵守し、JFAサッカー行動規範に則り大会に臨むこと。

2)　選手・指導者は、相手選手のみならず自チーム選手に対してもリスペクトの精神と態度で臨むこと。

3)　応援者（含、保護者）は、少年スポーツであることをわきまえ、その言動には十分注意すること。

8 疾 病 予 防

1)　選手は、予め医師の診断を受け、異常の無いことを確認したうえで参加出場すること。

2)　選手・指導者は、身体に異常を感じた場合、参加出場することの無いようにすること。

3)　負傷した場合、協会は一切責任を負わないので所属チームが全ての責任を持つこと。

9 大 会 運 営

1)　開会式は行わない。但し、地区から事前に開催要請があった場合は、県4種委員会で協議し決定する。

2)　審判員は、試合後審判報告書を作成し本部に提出をすること。また、退場者が出るなど問題が生じた場合は審判報告書（重要事項）を作成し、必ずその日に対応方法を本部等と協議しておくこと。

3)　審判員の派遣は、県4種委員会より各都市協会に派遣依頼をする。

4)　審判員はフレンドリーマッチであっても審判服を着用することとする。

10 ユニフォーム（補足）

1)　ソックステープの色は問わない。

2)　アンダーシャツの色・デザインはチーム内で同色・同一のものを着用する。

3)　アンダーショーツおよびタイツの色・デザインはチーム内で同色・同一のものを着用する。

4)　試合が引分に終わり大会要項によって定めるペナルティキック方式においてFPがゴールキーパーを行う場合の服装は、そのFPの服装のままでペナルティキック方式のGKを行っても良い。

11 電子通信機器を使用しての撮影（写真・ビデオ）

1)　テクニカルエリア内（ベンチを含む）においては、電子通信機器に附随しているものも含めて、キックオフから試合終了までの間、いかなる撮影（写真・ビデオ）も認められない。

12 そ　の　他

1)　選手登録・エントリー表の提出は、必ず地区4種委員長がユニフォーム色・選手登録の有無などを確認して、開催地4種委員長等にデーターで送付すること。（できれば、地区4種委員長が送付されたい。）

2)　出場選手の本部への挨拶は、指導者のみとする。試合時等のあいさつも、選手・監督等に関わらず握手をもって行う。

3)　大会運営中に起きた事柄を県協会・主管協会に申し出をせずに、個々の主観により勝手な判断した内容を文章やインターネットを通じて他の者に対して誹謗や批判をする行為をした者は、県4種委員会及び県規律フェアプレー委員会により厳罰に処する。

4)　関西大会に出場するチームは、県大会（予選）時に選手登録をしていた自チーム選手の中からエントリーすること。県大会後の移籍による出場は、関西大会では認められないことに注意すること。

　全国小学生選抜サッカー in 関西大会では、3ピリオッド制につき最低16人登録が必要なため、登録人数が不足する場合は出場できないものとする。

5)　テクニカルエリア内（ベンチ含む）への傘の持ち込みを禁止とする。なお、会場のルールを優先とするが、ターフテントの持ち込みは可能とする。

6)　大会要項違反があった場合は大会本部で協議の上、原則該当試合は0-3の不戦敗とする。

■熱中症対策による中断再開規定(兵庫県4種大会)　2026改定版

1　キックオフ10分前と前半終了時にWBGT計によりWBGT値を計測する。
(3ピリオド制の場合、キックオフ10分前と1P終了前及び2P終了時にWBGT計によりWBGT値を計測する)
2　測定方法　高さ1.1m程度のピッチ上で計測する。
3　試合の実施方法
31＝＜WBGT値　試合中断
28＝＜WBGT値＜31　３分間のクーリングタイム
25＝＜WBGT値＜28　１分間の飲水タイム
4　気象状況により再開・延期・中止の判断をする。(本部決定)
再開もしくは延期　→　中断時点のメンバー、時間、得点経過を含む記録すべてを有効として再開する。
(やむを得ない事情により中断時点のメンバーが揃わない場合は本部へ相談すること)
5　再開・延期できない場合

中断時の経過時間	中断時の点差	勝敗の結果	
		ノックアウトステージ	リーグ戦
1.試合開始前	―	抽選	引分(0-0)
2.ハーフタイム ⇒ 前半終了時のスコアで試合成立 (3ピリオド制 の場合、①1P終了 ⇒ 1P終了時のスコアで試合成立 ②2P終了 ⇒ 2P終了時のスコアで試合成立)	同点	抽選	引分(スコア反映)
	同点以外	試合結果とする	試合結果とする

■雷,大雨,大雪等による中断再開規定(兵庫県4種大会)　2026改定版

1　雷の場合、雷の音や光がなくなってから30分後に再開する。
2　時間に余裕がなく、日程に余裕がある場合
① 中断時点のメンバー、時間、得点経過を含む記録すべてを有効として後日再開する。
② 前半終了前に中断した場合は後日再開するが、前半終了後は試合成立として試合終了。
(3ピリオド制の場合⇒1ピリオド終了前に中断した場合は後日再開するが、1ピリオド終了後は試合成立として試合終了)
3　時間、日程ともに余裕がない場合(3ピリオド制も同様)

中断時の経過時間	中断時の点差	勝敗の結果	
		ノックアウトステージ	リーグ戦
1．試合開始前	―	抽選	引分（0-0）
2．キックオフから試合終了まで⇒中断した時のスコアで決定	同点	抽選	引分(スコア反映)
	同点以外	試合結果とする	試合結果とする

4　その他、レギュレーション変更等での対応が必要な場合は、大会本部において決定する。